

糸我小学校だより

令和4年12月20日 ①



2学期も終わりに近づきました。今学期も、いろいろな行事で活躍する子供たちの姿や、教室での授業や校外学習で真剣に学ぶ姿など、たくさんの心に残る場面がありました。

その時々において、保護者や地域の皆様から協力していただき、子供たちの成長を見守っていただいたことに感謝申し上げます。今後ご支援の程、よろしくお願いいたします。

音楽鑑賞会

11月18日（金）、紀文ホールで、ザ・カレッジ・オペラハウス管弦楽団によるオーケストラ公演が開催されました。今回、宮原小学校よりお声かけをいただき、宮原小学校と糸我小学校の全児童と一緒に鑑賞することになりました。オーケストラの演奏はもちろん、プロオペラ歌手の歌唱も聴くことができました。子供たちが指揮を経験したり、最後に楽団の方たちにお礼の挨拶をしたりしました。小規模校の本校としては良い経験となりました。何年か先、有和中学校で一緒になった時、共通の話題に上がるかもしれません。



プロオペラ歌手の歌唱



糸我小 西川君(6年)の指揮



糸我小 西君(6年)の挨拶

校内音楽発表会&有田地方音楽会

子供たちは、聴くばかりではなく、聴かせる方でも力を発揮しました。

11月22日（火）、3年ぶりに校内音楽発表会を実施し、4年生から6年生の合同の演奏を保護者の方に聴いてもらいました。朝の短い時間でしたが、集まってくださったたくさんの保護者の方に、迫力のある演奏を聴いていただけたと思います。その後、1年生から3年生の子供たちにも演奏を聴かせてくれました。

11月25日（金）には、有田地方音楽会に出て、オーケストラを聴いた紀文ホールの舞台上で演奏しました。一生懸命練習した成果を十分に発揮し素晴らしい演奏ができました。



糸我保育所年長さんとの交流会

11月28日（月）、1年生が糸我保育所の年長組8名を小学校に招待し、交流会を行いました。1年生の子供たちは、絵本の読み聞かせや、グループで迷路や的当てゲームなどの手作りおもちゃで、園児に楽しんでもらおうと頑張りました。

1年生にとって、ひとつ上の学年に上がりお兄さん・お姉さんになる気持ちの準備になったと思います。園児の皆さんにとっても、入学に向けての心の準備になってくれたらうれしいです。



AQ選果場・スーパー廣岡の見学

11月28日（月）、3年生が総合的な学習の時間に取り組んでいる「おいしいみかんをつくるひみつ」の学習でJAありだAQ中央選果場の見学に行き、みかんを選果する様子を見学しました。子供たちは、運ばれてくるたくさんのみかんが、いろんな機械や人を通して選別されていく様子を初めて見て、とても驚いていました。また、ほとんどの作業がAIで制御されていることにも驚いていました。

同日、デリシャス広岡吉備店も見学させていただきました。普段見ることのないバックヤードを見学させていただき、たくさんの工夫を見つけてきたようです。



出張減災教室

11月30日（水）、4年生が『出張！減災教室』（県の出前授業）で、地震と津波の怖さ、防災への取り組み方などについて学習しました。和歌山県で心配される地震には、南海トラフ地震があります。約100年に1度の割合で起こっており、今後30年以内の発生確率は70～80%だそうです。避難三原則（①想定にとられない②最善をつくせ③率先避難者となれ）を忘れず、自分の命は自分で守るために日頃の心がまえや準備が大事であることを学びました。



4～6年が起震車で地震体験

糸我小学校だより

令和4年12月20日 ②



校内持久走記録会

12月2日(金)、校内持久走記録会を行いました。本校の持久走記録会は、決まった距離を走り、タイムを測るのではなく、走る時間を決めて、その時間内にどれだけの距離を走れたか記録をとります。時間は、文科省の学習指導要領を基に、低学年は3分、中学年は4分、高学年は6分間としています。この形での実施は2回目となります。

当日、子供たちは、今までの練習でつかんだ自分のペースを思いだしながら、一生懸命走っていました。低学年の子供たちは、何周走ったかを高学年のお兄さんやお姉さんに教えてもらいました。高学年が走るときは低学年の子供たちは、お世話になったお返しと言わんばかりに、一生懸命応援していました。今後も走り終えた爽快感を忘れないで、走ることを楽しんでもらいたいと思います。



プログラミング学習

5・6年生のプログラミング学習が、必修化されて3年が経ちます。プログラミング教育では、将来どのような職業につくときにも必要となる「プログラミング的思考」の育成が重要とされています。プログラミング的思考とは、「目的を達成するために物事を順序立てて考え、結論を導き出していき、それを計画的に実行する考え方」です。そのためには論理的思考・創造性・問題解決能力・行動力が必要とされます。考えるだけでなく、実行に移していくことにより、様々な経験を積むことが出来ます。糸我の子供たちにも、これらを身に付け、様々な問題に対応していく力や積極性を身に付けていってほしいと思います。



文成中学校へ

12月1日(木)、生馬知季選手・九鬼巧選手が出身校の文成中学校で、お二人の対談・講演や実技指導を行う交流会がありました。糸我小の6年生も参加させていただきました。

両選手から、子供の頃のお話や大切にしてほしいことなどを聞かせていただいたり、競技の体験をさせていただいたりしました。

また、12月15日(木)には、中学校体験がありました。文成中学校の授業を参観したりクラブ活動を体験したりしました。子供たちは中学校の先生に引率していただいたり、クラブ活動体験では先輩方に教えてもらったりして、来年、中学生になった自分を想像しやすくなったようでした。中学校入学に向けて、心の準備も進められた時間となりました。



生馬選手(左)と九鬼選手(右)



中学校体験(授業参観)



中学校体験(部活動体験)

糸我稲荷神社の見学

12月7日(水)、4年生がお祭りについて調べるために、糸我稲荷神社に行きました。糸我稲荷神社では、富山晴美さんにいろいろとお話を伺いました。秋祭りは、農作物がたくさん収穫できた感謝を表す行事であること、御神輿は、神様の乗り物であり、それを担ぐことで神様のパワーがもらえること、糸我稲荷神社の秋祭りは、約700年前から始まったことなど教えていただきました。



今年、久しぶりに秋祭りが行われました。お祭りを体験した子供たちが大人になった時、脈々と受け継がれてきた糸我神社の祭りを引き継いでいってほしいと思います。

